

■6月7日

エアアジア・ジャパン (LCC)、年度内、国際線-新たに1路線開設を計画

(bloomberg)による

エアアジア・ジャパンは、今年度内に国際線を1路線増やす方針だ。7月就航予定の台北線に続くもので、国際線としては5路線目となる。日本人に人気のアジア諸国などを就航地として想定しており、国際線拡充により集客率を改善して収益拡大を狙う。

小田切義憲社長兼最高経営責任者 (CEO) が5日、ブルームバーグ・ニュースとのインタビューで明らかにした。就航地はエアバスA320型機を使う前提で片道約4時間の距離に限られるとし、香港やグアム、サイパンなど例に挙げた。現在の日中関係から中国本土への就航は時期尚早とも付け加えた。

現在は成田ーソウル、成田ー釜山、中部ーソウルと国際線の3路線を運航。7月3日に成田ー台北線を就航させる計画だ。国内線では成田、中部から計5路線を運航。日本航空などが出資して競合するジェットスター・ジャパンが国内線のみで運航する中で、エアアジアは国際路線の比重を高めることで差別化を図る。

(bloomberg) 6/6

<http://www.bloomberg.co.jp/bb/newsarchive/MNY8P96S972Y01.html> (->

<http://www.bloomberg.co.jp/bb/newsarchive/MNY8P96S972Y01.html>)

HAC、丘珠ー三沢線 (函館経由)、8-11月の運航を発表、普通運賃2万3千円

北海道エアシステムは6日、8月から就航する丘珠ー三沢線 (函館経由) の主な運賃を発表した。8月1~31日までの函館ー三沢線の普通運賃は1万3千円、丘珠ー三沢線は2万3千円になるという。

函館ー三沢線は8ー11月まで1日1往復就航する。HACは同日、新路線の開設方針を道庁の経営検討委員会に報告し、了承を得た。田村千裕社長は「増収の効果が見込めれば12月以降の運航も検討したい」と話す。

(日経) 6/6

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0600J_W3A600C1L41000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0600J_W3A600C1L41000/)

(HACプレスリリース) 6/6

https://www.info.hac-air.co.jp/common/pdf/hac_20130606.pdf (-> https://www.info.hac-air.co.jp/common/pdf/hac_20130606.pdf)

エアアジア (LCC)、バンコクーネピドー線、10月に開設

エアアジアはバンコクとミャンマーの首都ネピドーを結ぶ直行便を10月から毎日運航する。使用機材はエアバスA320型機 (座席数180)。

同社は現在、バンコクーヤンゴンを毎日3往復、バンコクーマンダレーを毎日1往復、クアラルンプールーヤンゴンを毎日1往復運航している。

(newsclip) 6/6

<http://www.newsclip.be/article/2013/06/06/17864.html> (-> <http://www.newsclip.be/article/2013/06/06/17864.html>)

ジェットスター・香港 (LCC)、信徳集団、株式3分の1を出資

マカオの不動産・輸送会社、信徳集団は、カンタス航空と中国東方航空が出資する新しい格安航空会社 (LCC) ジェットスター香港の株式3分の1を6600万米ドルで取得した。

香港での規制当局への承認申請は順調にすすんでいるという。

ジェットスター・香港は2012年に設立され、13年半ばには運航を開始するとの見通しを示していた。同社の香港での運航が始まれば、08年にオアシス香港航空が経営破たんした以来のLCC誕生となる。

(WSJ) 6/6

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323614804578528601297370058.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323614804578528601297370058.html>)

スクート(LCC)、旅客数100万人を突破、9路線L/F80%超

6月4日に1周年を迎えたスクートは、5月30日のシンガポールーシドニー線で、利用者が100万人を突破したと発表した。

また、就航からの約1年間で9路線に就航していたがロードファクターは平均80%を超えるなど好調に推移しているという。

同社は、現在は6月3日に南京線へ週3便で就航し、翌週にはソウルへの就航を計画。さらに2014年にはボーイングB787型機20機の導入が始まる予定だ。

(トラベルビジョン)6/7

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57811> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57811>)

中国南方航空、ボーイング787初就航は延期

中国南方航空は6日、ボーイングの新型機「787」の営業運航を先送りした。実現していれば中国の航空会社では初となる予定だった。

日経によると、広州から向かう予定だった北京市の視界が悪く、パイロットのこれまでの操縦時間が短い同機の運航を取りやめるように北京の空港側から求められたためだと同社は説明。「機体の故障が原因ではない」と強調した。同社は別の旅客機に代え、当初予定の正午より約5時間遅れで北京へと出発させた。7日は787を運航するという。

(日経)6/7

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM06059_W3A600C1FF1000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM06059_W3A600C1FF1000/)